

関係者各位

Home Island Project
<http://www.hipj.net>
shikoku@hipj.net

ビジネスフォーラム「You Turn」開催のご報告

3月1日(日)、駒場にある東京大学キャンパス内で、四国での仕事と暮らしの多様なかたちを紹介するイベント、「You Turn みんなの知らない、みんなが知りたい。いまどき四国のUターン」が開催されました。

イベント名: **You Turn ~みんなの知らない、みんなが知りたい。いまどき四国のUターン~**

日時: 2009年3月1日(日)

13:30 ~ 15:30 第1部(ディスカッション)

15:45 ~ 17:00 第2部(交流パーティー)

場所: 東京大学駒場食堂

参加者: 130名

主催: 経済産業省四国経済産業局、四国生産性本部 後援: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

協賛: 株式会社リクルートエージェント(第2部協賛)

企画運営: Home Island Project

企画主旨

四国を愛する有志のネットワーク、当 Home Island Project は、中長期的に四国で住み、働く人を増やそうと、昨年3月、四国のユニークな企業・団体を東京で紹介する「ビジネスフォーラム 世界につながる四国の企業」を運営しました。

前回は魅力的な「企業」に注目しましたが、今回はその続編として、「人」に焦点をあて、Uターン、Iターンした人(当イベントでは「You」と呼びました)が、実際に何を考え、どのようにU・Iターンを進めていったのか、リアルな声を聞くためのイベントです。

特に今回は、一般的にイメージされる「地元の企業に就職する」という形のUターンではなく、むしろ「四国で自分の仕事を創り出した」といえるユニークな方々をご紹介して、U・Iターンの多様性・可能性を参加者と共有することを大きな目的としました。

ゲスト&コメンテーター

今回、U・Iターンを実践した方として、以下の7名の方に登場頂きました。

You turn #01 国際ビジネスマン 森田峰彦さん (株)ミロク製作所 高知県出身

米国の大学を卒業後米国商社に勤務。その後高知県の(株)ミロク製作所で海外営業担当。

You turn #02 趣味人 鍵原一郎さん (有)海工房勤務 大阪府出身

自分らしく生きたい、自分の好きなサーフィンができる場所に住みたいという思いから高知県に移住。

You turn #03 立候補 大石宗さん 高知県議会議員 高知県出身

学生時代から、帰郷するたびに力を失っていきふるさを盛り上げたいと思い、政治を通じて地域の意識、仕組みを変えるため、高知県議会議員に立候補。

You turn #04 二代目社長 柳生敏宏さん 小豆島ヘルシーランド(株)取締役社長 香川県出身

関東の大学を卒業後、香川に帰郷し現在、父親の会社「小豆島ヘルシーランド(株)」を継いでオリーブを使った化粧品の製造・販売を行う。フランスやオーストラリアの農園との業務提携や商品開発など、仕事の舞台も小豆島から世界へ拡大している。

You turn #05 花嫁 白井華恵さん 専業主婦 東京都出身

東京吉祥寺出身 結婚して香川に来て5年。3歳と1歳の二人の子供がいる傍ら、特技の中国語を生かして、香川の魅力を中国語で発信するウェブサイトを運営。

You turn #06 クリエイター 別枝大輔さん あなぶきホームプランニング(株)勤務 香川県出身
東京大学大学院を卒業後、安藤忠雄建築研究所に勤務。

「建築を通して、香川の人々の生活を豊かにしたい」との思いから、2008年7月に香川に帰郷。

You turn #07 起業家 白川誉さん (株)ゼロコレティブ 代表取締役 愛媛県出身

小学校卒業後から親元を離れ2004年に帰郷。その後「1年間で365人と会おうプロジェクト(成果報酬型の代行営業サービス)」をスタートさせ、2007年、「ゼロコレ」を設立。愛媛を面白くするリアルコミュニティ事業「ゼロコレ村」を運営。村民の活動の場である「ゼロコレ倶楽部」、その活動内容を幅広く発信する「紙」「web」の2つの媒体を軸に、「人」と「人」、「人」と「企業・店舗」、「企業・店舗」と「企業・店舗」をつなぐコーディネート事業に取り組む。

当日の司会とコメンテーターは以下の方々でした。

コメンテーター 長井亮さん

(株)リクルートエージェントにて、4,800名以上の方の転職・就職の相談を受けてきた就職・転職コンサルタント。元四国支社長でもある。

コメンテーター 海老原嗣生さん

週刊モーニング連載「エンゼルバンク」のモデルになったカリスマ人材エージェント。(株)ニッチモ代表取締役社長。

司会 白鳥哲也さん

NHKアナウンサー。愛媛のまちづくりNPO「イケメン連」のプロデューサーでもあり、愛媛県松山の地域活性化に貢献。

事前アンケート

事前に、四国にUターンした103人にアンケートを実施し、その結果を当日のパンフレットに掲載しました(パンフレットをご参照下さい)。

四国にUターンした方々のUターン理由や満足度を知ることができ、またUターンした方々に、HIPの活動を伝えることもできました。

第1部



ディスカッションでは、多様なU・Iターンを実践した7名に対して、海老原さん、長井さんから「夢でUターンというのは本当ですか？きれいな事じゃないですか？」など、厳しい質問が投げかけられ、それによって7名の紹介VTRでは語られなかった本音が徐々に出てきました。

「地元が大好きというわけではない」「今でも時々悩むことがある」「田舎の人間関係は難しい」等々、リアルな声を聞くことで、それでもU・Iターンすることの意味と、現実的にU・Iターンする上で注意すべきポイントについて、参加者が考えることができました。

途中、参加者からも「婚約者がいるが、どう説得すればいいか?」「地元を捨てたという後ろめたい気持ちがUターンの支障になっているのではないか?」など、Uターンを妨げる具体的な課題について質問が出て、それにゲスト7名、コメンテーター2名が自身の経験を交えて真剣に回答することでユニークな議論となりました。

さらに、面接のスケジュール調整や旅費支援が必要といった企業や自治体への要望・提言も飛び出し、Uターンの促進ためには、本人の夢だけではなく、準備や心構え、周囲の協力、企業や自治体の支援など、多くの課題があることを、参加者が共有できました。

Uターンを検討する参加者にとって、Uターンの先輩達から、困難、喜び、生活や仕事の具体的な内容を聞くことで、自分のUターン後の姿を具体的にイメージすることができ、Uターンに向けて一歩前進できたと高い評価を得ました。

第2部



第2部は、交流パーティーとして、ゲスト、コメンテーター、参加者の交流だけではなく、Uターンへの具体的な相談・企業紹介もできるよう、四国4県のUターン支援担当者、協賛の㈱リクルートエージェントがブースを出し、参加者の相談に応じました。

参加者からの意見

当日は参加者にアンケートを実施し、以下のような感想が得られました。

「Uターンした人は意外と満足していた」「まずは行動してみようという気になった」「ネガティブな本音が聞けたのがよかった」「スキル・スペシャリティが必要」「アイデアが重要」「前向きでなければいけない」「課題はまだまだある。現状がわかってよかった」等々です。Uターンへの意識の変化を促すことができたようです。

総合的には、9割以上の方に満足いただけました。(詳細は「アンケート集計結果」をご覧ください)

また、ゲストの皆様も、これまで難しかった、Uターンした人同士の交流の機会ができたことにご満足頂きました。

最後に

今後は、Uターンした人/Uターン検討中の人/Uターンを歓迎している企業・自治体の、積極的なコミュニケーションを応援していく必要があると感じております。HIPがその応援の一助となるよう、今後も継続的にUターンを支援する活動を進めてまいります。

また、当Home Island Projectは、ビジネスフォーラムだけではなく、アート、農業と食、スポーツといった側面からも、四国の魅力を発信し、四国を応援してまいります。

Home Island Project <http://www.hipj.net>